

念じるほどの思いと魂を込めて!

●今日も中学校へウィーンからの贈り物・出張講座
先週 29 日にスタートした「音楽の都ウィーンからの贈り物」出張講座も今日から中学校へ会場を移して開催します。

家族からは「折角の休日なんだからたまには休んでゆっくりできないの? 何でそんなに一人で背負い込んでやっているの? 誰の事業なの?」と問われるのですが、富田千種様の折角の申し出を受けて、私が付度(?)して始めた事業なので「春日部地区浦高会の事業だけでも、私が企画して運営している事業だよ。一人で背負い込んでやっているのではなく、好きだからやらせてもらっているのだよ」と返しても、家族は「へえ〜? まあ身体だけは壊さないでね」とあまり信じていないようです。

* *

◆事業のはじまり

この事業は、5 年前(2013 年)に同窓会企画のために浦高同期(25 期会)で集まった北浦和のヘンリー茶夢(故・綿貫先輩 14 期)の店での富田様との偶然の出会いから始まります。その時、同窓会副会長の小室様(19 期)と一緒に店に入って来られた富田様(19 期)が何曲か歌われた後、綿貫様から「香田君、富田さんを紹介するよ。彼が春日部のコンサートホールで歌いたいと言っているんだ」と、富田様とは浦高百年の森で何度か歌声を聞かせていただいたことはあったのですが、直接お話するのは初めてのことでした。「県内で良いホールが無くてね、春日部高校の音楽ホールが良いと聞いたらどうかですか? できれば 1 度歌う機会を作ってください」と依頼されました。その時は「そうですね、考えておきます」とお応えしたのですが、その後、別のイベントでお目にかかった時に、富田様や綿貫様から再度お話をいただき真剣に考えることになりました。

ただ、ホールを借りて歌っていただくといっても観客がいなくては申し訳ないですし、会場費や出演料なども用意しなくてはなりません。そこで、春日部地区浦高会の事業として実施できないかと思いを巡らせました。

◆春日部地区浦高会 15 周年記念事業へ

春日部地区浦高会では 10 周年(2011 年)を迎える前に、当時の三輪会長から「地域同窓会はただの親睦団体としてだけでなく、地域貢献事業を行うことに存在意義がある。そんな地域貢献事業を 10 周年を記念して行おうじゃありませんか。企画は事務局長の香田さんに任せます」と言われ、同窓会本部で荒川上流の寄居町風布に「浦高百年の森」事業を立ち上げたことを踏まえて、県東部の古利根川沿いに鎮守の杜を作る「春日部麗しの杜づくり」事業を提

案しました。財源としては埼玉県から補助金 55 万円をいただき、春日部市からは川久保公園の一角をお借りすることができ、2010~2013 年で 100 本近くの植栽を行ってきた実績があります。

そこで 15 周年(2016 年)に向けての記念事業として「音楽の都ウィーンからの贈り物」を同窓会に企画提案し、会場の春日部高校センティニアルホールで開催しようと準備を始めました。しかし、残念な事に初年度の 2014 年はホールが工事のために確保することができず、代替案として丘の上教会を会場として同窓会会員を中心とした「チャペルで楽しむクラシック・コンサート ~ 歌曲とオペラ ~」を開催し 60 名の皆様に楽しんでいただきました。

◆音楽の都ウィーンからの贈り物事業

そして翌 2015 年に念願の春日部高校センティニアルホールにて「第 1 回音楽の都ウィーンからの贈り物・コンサート」を開催することができました。この事業の目的は、同窓会本部が奨学財団を設立して浦高生たちをグローバル人材として育成しようという考えを受けて、春日部市が市をあげて『音楽のまちづくり』を推進していることを踏まえて、多感な中高生や市内外の愛好家に世界最高峰のクラシック音楽を体験してもらい、こうした体験の中から、春日部市から世界最高峰を目指す音楽家が輩出できる環境をつくろうということを目的としました。

こうした目的に対して、春日部市から地域力アップ提案事業補助金(3 年間で 150 万円程度)、教育委員会の後援などをいただけたことも事業推進の大きな励みになっています。

事業の進め方は次の 3 段階で考えています。

1. ウィーンの音楽に出会い、興味を持ってもらう
段階 ⇒ コンサートを通じてウィーンの音楽と音楽環境に興味を持ってもらう
2. 中高生や合唱サークルの方々が世界レベルの指導を受け、技術を身に付ける段階 ⇒ 富田氏等による出前指導により、中高生や合唱サークルの皆さんに世界レベルの技術を自ら体験してもらう
3. 世界レベルの音楽を春日部市内で楽しむ段階
⇒ 昨年度はウィーンフィル・ヴィオラ奏者、今年度はバーデン市(ウィーン市近郊)劇場で活躍されているオペラ歌手を招いて世界最高の音楽を春日部市内で体験できるコンサートを実現

* *

こうした事業計画に基づき、先日的一般の方々を対象とした発声指導や今日から始まる中学校への出張事業があるのです。一昨年(2015)のコンサートは私の経験不足から失敗から始まった事業ですが、どなたかの言葉に「物事がうまくいきそうだからやるのではない。うまくいくかどうかは、念じ祈るほどの思いや魂を込めるほどの思いがなければ、事は成就しない」を胸に昨年は大入り成功、今年も…と念じて!